

第124回福島大学経営協議会議事要録

1. 日 時 令和5年6月27日（火）13時30分～15時10分
2. 場 所 福島大学事務局棟 大会議室（一部web参加）
3. 出席者
【学外委員】岩渕明、尾形真一郎、加藤知道、土田淳、中村考昭、羽田貴史
【学内委員】三浦浩喜、塩谷弘康、佐野孝治、内藤雷太、谷雅泰、田中明、新田洋司
〔オブザーバー〕学類長・研究科長：初澤敏生、高橋準、井上健、長橋良隆、荒井聡
理 事：鈴木廣明、濱津さとみ
監 事：上井喜彦、橋本潤子
4. 欠席者
【学外委員】石山純恵、遠藤雄幸
【学内委員】なし
5. 議 事
 - (1) 【審議】 役員の業績評価について <資料1>
 - (2) 【審議】 令和4事業年度決算について <資料2>
 - (3) 【審議】 令和6年度概算要求について <資料3>
 - (4) 【審議】 農学系研究科（博士課程）設置構想検討委員会の結果報告について <資料4>
 - (5) 【報告】 学長候補者の決定について <資料5>
 - (6) 【報告】 令和5年度国立大学法人ガバナンス・コード適合状況に係る確認方法等について <資料6>
 - (7) 【報告】 今後の自己点検・評価の進め方について <資料7>
 - (8) 【報告】 令和4年度監事監査結果について <資料8>

議事に先立ち、三浦学長から挨拶があり、引き続き、各委員より一言ずつ挨拶があった。

【確認事項】

第122回、第123回経営協議会議事要録を原案のとおり確認した。

【議題】

- (1) 【審議】 役員の業績評価について <資料1>
三浦議長から、資料1に基づき、令和5年6月の期末特別手当の支給に係る役員の業績評価について提案があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。

(以下、◇はその議題に関する委員からの質問・意見、◆は大学側の回答を表す。)

◇業績評価の算出方法について、昨年度と変わらないが、第4期における適切な算出方法を検討いただきたい。

◆検討し、次回以降は新たな方法で評価を行う。

(2) 【審議】令和4事業年度決算について <資料2>
内藤委員から、資料2に基づき、令和4事業年度決算について提案があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。

◇令和4年2月に国立大学法人会計基準が改訂されたことにより、令和4事業年度における会計処理にどのような変更が生じたかは、簡単にまとめた資料があると理解しやすい。次回以降の説明の際は、資料を準備いただきたい。

◆ご意見を踏まえ、大きな変更が生じたポイントをまとめた資料を後日経営協議会委員へ送付することとしたい。

(3) 【審議】令和6年度概算要求について <資料3>
内藤委員から、資料3に基づき、令和6年度概算要求の枠組みのうち、運営費交付金「教育研究組織改革分」、「基盤的設備等整備分」の要求の方向性及び「施設整備事業」の要求内容について提案があった。

審議の結果、承認され今後の手続きとして、教育研究組織改革分、基盤的設備等整備分それぞれの期日までに文部科学省へ提出することとした。なお、今後申請書類の修正が生じた場合は、その修正を学長に一任することについても併せて承認された。

◇水素エネルギー総合研究所を福島大学で設置する必要性や考え方を伺いたい。

◆本学の強みを出すため、これまでいくつかの研究プロジェクトに予算的支援を行っており、その一つとして、バイオマスから水素を発生させ、その水素の活用法まで一貫して行っている研究がある。加えて、福島県と再生可能エネルギーに関わる協定を令和4年度末に結んだ経緯もあることから、現在は、福島県に対し水素エネルギー研究所の考え方を福島県に伝えており、これらの状況を踏まえ水素エネルギー研究所構想が作られている。現在本学が支援している研究は、バイオマスから水素を取り出し、小規模の自治体単位で活用していくという方向性であり、地域に根差したエネルギー活用という点で高く評価されると考えており、教育研究組織改革分として申請したい。

◇資料3-1、2ページ目「3.本学の要求の方向性」「(1)①」中「(5)学内資源の再配分(教員の再配置)を行うことが可能な計画となっているか。」及び「(7)

(KPI が設定されることを踏まえ) 成果が見込めるか、また、アウトカムを見通したKPI 設定が可能か。」に関して、具体的にどのような検討をしているか伺いたい。

◆これらについては、資料3-3-1、2 ページ目にまとめており、文部科学省からの事務連絡を踏まえ本学の考え方を整理している。

◇「(5)」について、教員組織の説明はあるが、既存組織への影響についてはどのように検討されているか伺いたい。

◆資料3-3-1、2 ページ目に記載されている通り、この計画における現職教員の関わり方は兼務であり、共生システム理工学類9名、食農学類4名、経済経営学類1名、行政政策学類1名から配置を行うことを想定している。加えて、教員要求を行い、新たに教員5名を配置するという計画である。

◇概算要求としては理解したが、現職教員への負担や既存組織の影響についての検討も必要と思い伺った。また、「(7)」については、KPIだけでなくインパクト評価についても焦点になると思われる。インパクト評価に関する現在の検討状況について伺いたい。

◆インパクト評価に関しては、「社会的インパクト」そのものを理解する必要があり、文部科学省が今年度中に何らかの方向性を出す見込みである。文部科学省からの連絡を待ち詳細の検討を行いたい。

◇流れは理解できた。

(4) 【審議】農学系研究科(博士課程)設置構想検討委員会の結果報告について

<資料4>

荒井食農学類長・食農科学研究科長から、資料3に基づき、農学系研究科(博士課程)設置構想検討委員会における農学系研究科(博士課程)設置構想の検討結果の説明があり、検討結果のとおり進めたいと提案があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。

(5) 【報告】学長候補者の決定について

<資料5>

岩淵委員(学長選考・監察会議長)より、資料5に基づき、令和5年5月23日に学長選考・監察会議において次期学長候補者を決定したこと、並びに、今年度の学長の業務執行状況の確認は、学長候補者決定の際の学長ヒアリングに替えたことについて報告があった。

◆学長選考・監察会議より、再任可とされた。残り2年9ヶ月では、大学改革等について身を粉にして取り組んでいきたい。

(6) 【報告】令和5年度国立大学法人ガバナンス・コード適合状況に係る確認方法等について <資料6>

三浦議長から、令和5年度国立大学法人ガバナンス・コード適合状況に係る確認方法等について報告があり、学長室から、資料6に基づき、経営協議会委員及び監事の確認方法及び今後のスケジュールについて報告があった。

(7) 【報告】今後の自己点検・評価の進め方について <資料7>

塩谷委員より、資料7に基づき、今後の自己点検・評価の進め方について、自己評価委員会における検討事項の確認及び実施様式等の見直しについて報告があった。

(8) 【報告】令和4年度監事監査結果について <資料8>

上井監事及び橋本監事より、資料8に基づき、令和4年度の監事監査結果について報告があった。

◆資料8-1、14ページ下から5行目「三密対策」の点については、「教室の半減」ではなく、「教室定員の半減」と思われる。

◇ご指摘のとおり修正する。